



平成20年 5月15日

8面	7面	6面	5面	4面	3面	2面
声・視点・ペンべん草	こどもの詩・短歌・俳句	ひと・すぼと	スポーツ・情報	町の埋蔵文化財	みんなで仲良く	平成20年度公民館関係の組織図
						平成20年度公民館関係の組織図



まつかわ百景 ⑳「清流苑下の小川」

新緑に覆われた木陰に、山つつじの朱色が映える。

「人の和のある地域協働の町づくり」これは松川町の目指す姿であり、3月議会においても社会教育の更なる充実をという願いから、協働をどう進めるか話題になった。

この「協働」とは生涯学習を進める上での、人と人とのふれあいによって社会人として必要ないことを学び、自己の向上を図るとともに家庭づくり、仲間づくり、地域づくりとなるような営みととらえたい。

平成15年度の公民館研究集会で取り上げられたあいさつ運動も5年目を迎えた。子どもたちが挨拶をしないという状況を憂い、大人から子どもに積極的に声をかけていこうと始められた。

この運動は当初、本館の社会部が中心になつて進められたが、平成18年度からは地区公民館の皆さんも実際に活動に加わってくださった。さらに本館の他の部員、社会教育委員、子ども会育成会、社会を明るくする会とあいさつ運動の輪は広がってきた。またこの運動を通して子どもから挨拶を投げかけてくれる子が多くなつてきている。

このような実践が地域協働の

主張

地域協働の町づくり

町づくりの一例といえるものではないか。

私は現在古町地区の子ども会育成会の仕事もさせて頂いている。どの地区にもそれぞれ工夫された活動が展開されていると思われるが、古町子ども会も区会や地区公民館の皆さんと連携しながら、環境美か運動や高齢者と子どもたちとのマレットゴルフ大会等計画運営している。

こうした活動の中に「元旦挨拶会」という行事がある。元旦に八幡神社の境内に集まり、初詣をし、区会長さんの講話を聞き、新年の抱負を述べ合っている。私が誇れるのはその場に多くの保護者の皆さんが参加していることだ。地域の子どもたちを地域の大人が温かく見守つていこうという思いが見られるのだ。こうした活動も地域協働の姿ととらえたい。家庭・地域からの意識改革が町の願いを实らせていくのだと考える。

この営みの過程において公民館職員も一丸となつて町民と共に活動していきたいと考えている。本年もご支援、ご協力、宜しくお願い申し上げます。

松川町公民館長 松村直彦

平成20年度

公民館事業スタート

あいさつから始まる 地域づくり

社会部長 岩崎敏宏

新年度を迎え平成20年度の公民館事業が新たなスタートを切りました。私達本館社会部では、今年度の年間テーマを昨年引き続き「住みよい環境づくり」～あいさつから始まる地域づくり～としました。平成15年より公民館社会部では世代間を超えた地域のつながりの

第一歩として、大人から子供に、子供から大人に、自然とあいさつが出来る地域を目指し、あいさつ運動に取り組んできました。具体的な活動として年間を通して毎月1回「街頭あいさつ運動」を行っています。この運動は当初私共社会部のみで始めた事業でしたが、近年では地区館の方々にもこの考えにご賛同いただき、各地区にて同様の運動を行っていただいています。あいさつは心のかよいう家庭づくりや地域の人間的なつながりをつくる大切なものであり、人と人とのコミュニ

ケーションの原点です。最初は小さな運動からスタートしたのですが、この運動を続けることにより公民館を発信として元気なあいさつが地域に広がり、また地域の活性化につながるよう運動を推進していききたいと思えます。



地域に広がれ!! 元気なあいさつ

この他にも成人講座、人形劇場、映画会、音楽祭、を計画しています。これらの行事も幅広い世代の皆様に興味を持って参加していただけるよう内容を企画していきたいと考えていますので、ぜひ町民の皆様との交流の場、学びあいの場として活用していただきたいと思います。

本年度も社会部一同今を考え、未来を見据えてより積極的

に活動していききたいと思えますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

多くの町民が楽しめる スポーツを

体育部長 宮澤武彦

今年の夏は北京五輪が開催されます。また日本人メジャーリーガーが増えて、今年もスポーツの話題で盛り上がりそうな予感がします。

先日、豊丘村で「総合型地域スポーツクラブ」が発足しました。また高森町・飯田市高陵地区などではすでに活動しています。「総合型地域スポーツクラブ」とは町民の誰もが参加できる組織のことです。先月号でもお話ししましたが、松川町はスポーツが盛んに行われており、特に少年少女のクラブ活動は大変充実しております。しかし、子ども達の体力は年々低下傾向にあり、私達大人も昔より運動をする機会が減ったような気がします。世の中も楽なもの・便利なもの社会になってきてますます体を動かす機会が減ってきています。

「スポーツで汗をかいて気持ち良かった。」「スポーツでストレス発散になった。」「スポーツの後でのビール・食事がおいしかった」皆さんはこんな経験がありませんか？公民館体育部では少しでも皆さんにこんな気持ちを感じてほしいのです。そして子どもと大人が一緒になってスポーツを楽しんで頂きたいのです。

今年度も公民館体育部では町民の皆様にも「気持ちいい・ストレス発散・酒や食事がおいしい・子どもと大人と一緒に楽しめる」そんな誰でも楽しめる行事を計画しました。トランポリン教室・ファミリア登山・駅伝大会・ニュースポーツフェスティバルなどを行います。多くの皆さんと一緒に楽しみましょう。

最後になりますが、今年度も駅伝大会では「安全・充実」な大会



「安全・充実」な駅伝大会を目指します！

を目指して計画していきます。皆様のご協力を宜しくお願ひします。

館報の情報を大切に

編集部長 光澤正之

公民館の活動がより多くのみなさんに伝わるように。そんな思いで館報の編集を毎月行っています。

今年度も館報では公民館の情報発信や町民の皆さんの思いを伝えていきたいと思っています。

時代の流れから、最近ではより狭い範囲での地域のつながりが見直されてきています。松川町でもそれは同じことで、このような田舎の町でも近所の家の人のことがわからないというような、つながりの薄さも見られるようです。

しかし公民館ではそんな地域のつながりのきつかけになる活動も多く、大勢の人たちに参加してほしいものです。公民館関係の担当になった人たちだけが参加するのではなく、みんなの公民館であってほしいものです。

そうした意味では、館報は公民館の情報発信の要であり、皆さんからの意見も頂きながら、よりわかりやすい、より親しみのある館報を目指していききたいと思っています。

20年度 公民館関係の組織構成

教育委員

委員長 倉田 紀(南方)
 代理 南林佐紀子(町谷)
 委員 片桐 一美(諏訪形)
 委員 橋場正農夫(中山)
 教育長 鋤柄 郁夫(宮坂)

社会教育委員

委員長 堤 久(古町中部)
 副委員長 大澤 美子(上町)
 委員 奥田千世子(堤原)
 委員 福沢 貞和(中山)
 委員 佐藤 清(滝の沢)
 委員 佐々木順子(宗源原)
 委員 北原 宏(東小学校)

運営審議会委員

会長 宮下 繁(議議会)
 会長代理 堤 久(社教委員)
 委員 米山 由子(議議会)
 委員 松本 富雄(中央小学校)
 委員 五味 一男(北小学校)
 委員 堀木 暁子(女団連)
 委員 下平 勉久(社協)
 委員 丹羽 正宣(奥小PTA)
 委員 三石 政寛(北小PTA)
 委員 大澤 美子(社教委員)
 委員 奥田千世子(社教委員)
 委員 神村 憲好(体育協会)
 委員 久保田光男(文化協会)

委員 松尾 正幸(学識経験)
 委員 桃沢 茂春(学識経験)

体育指導委員

宮下 明 (宗源原)
 唐沢 敏行 (部奈)
 金子 茂 (清泉地一)
 大島 賢悟 (馬坂)
 池野 妙子 (宮坂)
 原田智妙美 (羽場)

本館部員

◎印：部長 ○印：副部長

◎岩崎 敏宏 (古町東部)
 ◎水野耕一郎 (桑園東部)
 小島 慎司 (中央第二)
 奥田 茂 (堤原)
 湯澤 秀樹 (増野)
 矢澤 恵樹 (松川)
 大場 将博 (堤原)
 吉川 佳弘 (大沢北部)
 堀木 拓也 (下境外南部)
 小林 鉄也 (清北)
 ◎光澤 正之 (清泉地一)
 ○鈴木 一弘 (堤原)
 宮下 徹 (弥久司)
 宮下 和子 (上町)
 坂本 美帆 (福沢)
 宮崎重希子 (馬坂)

三島真理子 (古町北部)
 松下 武史 (北名子)
 松下 佳史 (城北)
 大久保康司 (中荒町)
 ◎宮澤 武彦 (中山)
 ◎松村 毅 (古町北部)

地区協議会

〔大島地区〕
 協議会長 佐藤 清(滝の沢)
 主事 渡邊 克志(本町)
 主事補 北澤 秀人(宗源原)

〔上片桐地区〕
 協議会長 塚本 紘造(上町)
 主事 片桐 雅彦(城谷)
 主事補 牛久保 守(町谷)

〔生田地区〕
 協議会長 下澤 重利(中山)
 主事 松下 聡(長峰)

教育委員会事務局

教育長兼図書館長兼資料館長
 兼生涯学習課長 鋤柄 郁夫
 公民館長 松村 直彦
 事務局長 村田 肇
 兼こども課長

地区公民館役員名簿

地区館名	館長[副館長] [会計]	主事[主事補]	社会部		体育部	
			社会部長	社会部副部長	体育部長	体育部副部長
古町地区公民館	溝口 邦雄	野原 義宏 市岡 宏智	吉川 貴尋 福与 旦幸	宮下 明弘 中島 貴裕		
上新井地区公民館	佐藤 清	寺沢 喜浩 中平 信次	中平 芳照 米山 敏	福澤 隆夫 平野 竜也		
名子地区公民館	水野 泰秀	佐々木 孝和 原田 和房	山上 秀穂 八森 俊樹	松下 修司 下井 昭二		
上大島地区公民館	西尾 鎮雄	林 正茂 松尾 豊	桜井 智史 白沢 順司	小木曾 剛 斉藤 健幸		
上片桐地区公民館	塚本 紘造 [平川 正明] (宮澤 敏明)	片桐 雅彦 [牛久保 守]	橋本 貞幸 橋本 善和	林 健二 北島 克之		
福与地区公民館	下沢 秋信 (細川 容宏)	片桐 渡久成	下澤 秀樹 下沢 紀之	大村 広栄 松村 盛充		
生東地区公民館	下澤 重利	池上 徹 [下沢 達則]	下澤 正治 小椋 英司	市岡 和勇 木下 昌浩		
部奈地区公民館	林 秀人 (北林 義宏)	林 利文	林 貞喜 林 俊晴	北林 修 北林 茂伸		

資料館・図書館係長 酒井 幸則
 生涯学習・男女共同参画係長
 兼公民館主事兼社会教育主事 小木曾雅彦
 社会教育指導員 宮下 千波
 生涯学習・男女共同参画係 兼公民館主事 新井 直彦
 図書館司書 清田 洋子
 図書館 斉藤 秀子
 社会教育施設管理 井上 徳明
 名子原体育館管理 松下 勝子
 福与体育館管理 高坂美智子
 (電話) 36-6205
 (電話) 36-6311
 (電話) 34-0733
 (電話) 36-3746
 (電話) 36-2622
 (電話) 36-7023
 (電話) 36-2622

■連絡先

教育委員会事務局

中央公民館・町民体育館

図書館

資料館

名子原体育館

福与体育館

平成20年度関係団体スタート

高齢者クラブの 紹介と入会のご案内

松川町高齢者クラブ連合会長

久保政人

高齢者クラブとは本年4月1日から、老人クラブが名称変更した新しい団体名です。高齢者クラブは高齢者が自らの

老後を健康で豊かなものにする為の自主的な組織で、会員相互の親睦を深めると共に社会奉仕活動や、健康づくりの為の活動を行っています。又高齢者クラブは老人福祉法により法的な位置づけと公的補助を受け全国では80万人余の会員が活動をしています。

松川町高齢者クラブ連合会は、昭和33年松川町長生会として発足。その後生田および山吹里見と合併して、現在の高齢者クラブとなり、本年は第52回の定期総会を行ない、会員数は625名です。

今一番困っている事は会員の高齢化で、どちらを向いても80代。足腰の痛い人ばかりで、組織の維持や事業の推進が困難となつてまいりました。

先輩が50有余年守り育てた歴史あるクラブ。社会に重要な存在であるクラブへ入会して戴き皆様の尊い人生経験を生かして、高齢化している組織の活性化にお力添えを賜りたく、大勢の皆様のご入会を心からお待ちしております。



健康で豊かな生活を… (健康体操の様子)

総合型地域 スポーツクラブ

体育協会長 神村憲好

日頃は、体育協会の事業の推進に深いご理解とご協力を賜っておりますことに対して、

先輩が50有余年守り育てた歴史あるクラブ。社会に重要な存在であるクラブへ入会して戴き皆様の尊い人生経験を生かして、高齢化している組織の活性化にお力添えを賜りたく、大勢の皆様のご入会を心からお待ちしております。

先、近いうちに実施することになると思います。というのも、文部科学省では、平成12年9月に「スポーツ振興基本計画」を策定し公表しました。この基本計画は生涯スポーツ社会の実現に向けて平成13年(2001年)度から22年(2010年)度までの計画的期間内に、全国の各市町村に少なくとも一つは総合型地域スポーツクラブを育成することを目標とする。

政策目標に

(1)国民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでもどこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現する。

(2)その目標として、できる限り早期に、成人の週1回以上のスポーツ実施率が、2人に1人(50%)となることを目指す。

総合型地域スポーツクラブのメリット

- 1、地域コミュニケーションが再生されます。
- 2、子どもたちが生き生きと育ちます。
- 3、お年寄りが健康で元気に生活できます。

というところで、スポーツ盛んな松川町ですが、ぜひ、取り入れていきたいと思えます。

文化祭には

今から取組んで

文化協会長 久保田光男

桜花爛漫の好季節に松川町文化協会の定期総会が開かれました。

この定期総会は平成19年度をふりかえって考え、又新しい年への計画について考えるときであります。そして文化協会の大仕事は秋の文化祭であります。今年の文化祭は10月24日・25日・26日の3日間です。松川町公民館と町民体育館の全館全室をお借

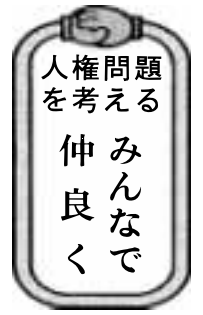
りして盛大に行われます。従いまして今から作品づくりに取組んで秋の文化祭にはパーツと花を咲かせたいものと思えます。

何としましても日頃の練習の成果を発表する場でありますので展示・演示ともその成果を皆様に見ていただくと同時に自分の姿・作品を含め会場で見つめて反省し前進する機会でもあります。

秋の文化祭には町民皆様のお力添えをいただきまして立派に開催出来ますようお願い申し上げます。



盛大に行われる文化祭 (昨年の展示)



友達とのかかわり

中学1年 有本真生

私は、この春、中学へ入学してきました。

中学といえば「勉強」「部活」「友達関係」だと思います。その友達関係について思ったことを書きます。

「友達」この二文字は整って、じつは、とても重いものです。最近、友達の中でいじめが多くなっています。

私が思うに、友達との距離が大切だと思います。友達との距離が近すぎると、悪いさそいに無理やりでものせられたりすると思います。逆に遠すぎても、輪の中に入りづらくなると思いますが、なので私は、友達との仲は近すぎない、でも遠すぎもしない距離が一番だと思います。しかし友達は家族とは少し違う話しやすさがあります。なので本当に自分の好きな人に、つらい話や、話にくいことを話せばいいと思います。「人」という字は人と人が助け

合ってできた字だと言われています。友達はみんな大切だけど、「人」の字のように自分の本当のパートナーを探すと、これからの中学生生活がうまくやっていけると思いました。

いじめ奪われる命

中学2年 網野可菜

いじめとは、している人がその気でもなくともされている人が傷ついてしまったら、その時点でいじめになってしまいます。

私は喧嘩をした事はたくさんありますがいじめにあつた経験はあまりありません。しかし気づかないうちに人を傷つけていた事は少なくありません。つまり、私もいじめをしていた経験があるという事です。

中学校に入ってから、今まで人が言われていやなことは、言わないようにしてきました。今現在、いじめで尊い命を落としてしまっている人はこの社会で少なからずいると思います。

希望に満ちた将来がある若者のすべてを奪ういじめは、怖い事です。いじめをなくすには、まず、自分が変わるところからはじめる事が大切だと思います。

自分が変わり、いじめられている人を助けられるようになって、社会全体にいじめが少なくなるのではないのでしょうか。一人一人の権利

中学3年 宮下俊希

僕は、今まで正直いつて人権のことににも関心がありませんでした。

だけどこの作文を書くことになり人権のことについて自分で考えてみようと思いました。

自分なりに調べたら、人権とは、「生まれながらに人間がもっている生命、自由、名誉というすぐく深い意味だと知りました。

ぼくはそんな人権を数回否定してしまつたことがあります。人権を否定された人はとても心が傷つくし、否定した方の人、すぐく「なんであんなことを言つてしまつたんだ」と後悔すると思います。

だから、自分は今人権を否定したくないし、もしそんなことをする人がいたら、そんなことは許しません。

これからは一人一人の人権を大切に生活していきたいです。

松川町の文化財

(349) 埋蔵文化財 (247)

松川町の中世城館跡

大島城(13) —台城(だいじょう)の呼び名—

教育委員会 酒井幸則

江戸時代中期以降に記されたこの地域の書物は大島城のことを「台の城」・「台城」・「大蛇ヶ城」・「猿ヶ鼻城」など、いろんな呼び方で表しています。一般的にこの地域では古くから「だいじょう」と呼び親しまれてきたようです。

大島城が機能していた頃の確かな史料には、「大島」あるいは「大島の城」と記されており、「だいじょう」は登場しません。当時、一般的には城の呼び名は特別なものを除き所在する土地の名で呼んでいたようです。ただし、地域支配の拠点となる重要な城を「大城」と書き、「だいじょう」あるいは「おおじょう」と呼んだ例があります。もしかしら武田氏が伊那谷の拠点の要塞として大修築した後、文字通り「大城」としての性格から地域の人々より「だいじょう」と呼ばれるようになったものかもしれません。この「だいじょう」が後に大蛇ヶ伝説と混ざり合つて「大蛇ヶ

城」となつた可能性もあります。

猿ヶ鼻城については何とも言えませんが、あるいは城の部分が大竜川に突出し、猿の鼻に似ていることから、土地の呼び名に起因した別称であつたものかもしれません。例えば神ノ峰城が床山城と呼ばれる如く、城には地域で呼ぶ別称はつきものなのです。

本丸の奥に祀られる神社は猿鼻神社で、歴代の城主が祭神です。このことから古い時代から「猿ヶ鼻」の呼び名があつたことは確かです。近年、古町区で復活した猿鼻神社のキツネの嫁入り神事が、城と何か関係があると面白いですね。



キツネの嫁入り神事

春晴天のもと 元気にスポーツしよう

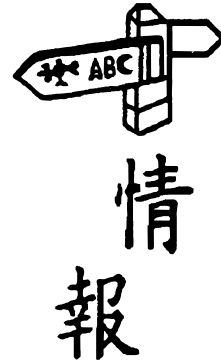
第4回まつかわの里 マレットゴルフ大会

4月9日清流苑マレットゴルフ場にて第4回まつかわの里マレットゴルフ大会が行われた。(コース36ホール・パー144ストロークプレー) 参加人数123名(男性67名女性56名)

総合の部
優勝 松下 陸次 (101)

男子の部
優勝 山岸 竹男 (102)
第2位 中山 良男 (105)
第3位 宮下 宣夫 (106)
第4位 有賀 一也 (106)
第5位 佐々木 優 (107)

女子の部
優勝 今村 利恵 (109)
第2位 大澤三世子 (113)
第3位 西澤 清子 (113)
第4位 松下 幾恵 (113)
第5位 大場たみ枝 (114)



本館行事

〈まつかわ寄席〉

期日 6月15日(日)
会場 中央公民館
講師 昔昔亭健太郎

〈第1回まつかわ大学〉

期日 6月21日(土) (全4回)
会場 町民体育館
講師 トレーニングルーム
元NHKアナウンサー
宮川 泰夫氏
その他 入学金(4回受講)
1,500円
一回のみ受講
500円

〈街頭あいさつ運動〉

日時 6月2日(月)
午前7時~8時
場所 町内各所・学校周辺

〈家族で遊ぼう〉

(第1回)
期日 6月3日(火)
会場 大島保育園
内容 さつま芋苗植え

(第2回)

期日 6月17日(火)
会場 おひさま
内容 七夕飾り製作

地区館行事

古町地区公民館

〈ソフトバレーボール大会〉
期日 6月15日(日)

名子地区公民館

〈ソフトボール〉
期日 6月1日(日)

〈ソフトバレーボール大会〉

期日 6月1日(日)

〈健康学習会〉

期日 6月6日(金)

〈バドミントン大会〉

期日 6月22日(日)

上大島地区公民館

〈環境浄化・ごみ拾い〉

期日 5月25日(日)

〈歩け歩け大会〉

期日 6月8日(日)

上片桐地区公民館

〈花いっぱい運動〉
期日 5月18日(日)

生東地区公民館

〈環境美化運動〉
期日 6月22日(日)

その他行事

〈第8回団体対抗

バドミントン大会〉
期日 6月8日(日)
会場 町民体育館
主催 松川町
バドミントン協会
その他 参加申し込みが必要

みなさん

「自主企画講座」

ひらいてみませんか

公民館は、町民の皆さんによる学習の集いを応援します。

(1)主旨

町民自主企画講座は、町民の学習要望を表現するため参加者が主体的に企画、運営に関わり、公民館と共同で実現する講座

(2)募集及び申込先

随時募集。「町民自主企画講座申請書」で公民館へ申

し込む

(3)講座

- ①連続講座
- ②単発講座(講演会や一日学習会など)

(4)条件

- ①主体的に企画・運営に関わる事のできる仲間を数名(概ね5名)集める
- ②既存の団体は団体としての応募は出来ない

(5)費用

- ①趣味的講座についての講師謝礼は支出しない
- ②用紙・印刷などは必要に応じて公民館で負担

(6)会場

- ①原則中央公民館を使用
- ②スポーツ等の場合は体育館等公共施設を使用

(7)その他

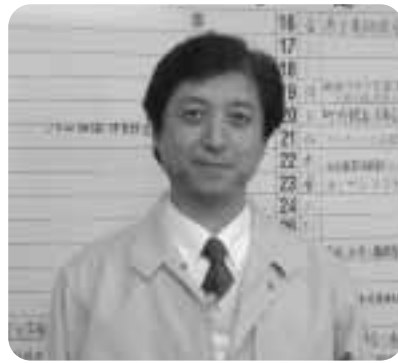
- ①同種講座・サークルが活動している場合は、採用しない場合がある。
- ②複数グループから同種の講座の応募があった場合は調整する場合があります。
- ③社会教育法23条に抵触する場合(特定政党を支持する内容・特定の宗教を支持する内容)は採用しない。



お帰りなさい 小木曾さん

小木曾 雅彦さん

今月の「ひと」は、4月から公民館主事に着任された小木曾雅彦さんにお話を伺いました。



小木曾主事は14年前まで9年間にわたり公民館主事を務められていました。14年ぶりの公民館という事で、昔とも比べて変わった事を聞いた所「事業数が増えていて、その中でも特に学習活動が増えている」と言われました。

主に体育関連を担当される小木曾主事ですが、これからの目標を聞いた所、「前回主事を務めた時は社会教育関係と社会部・編集部を担当していた、体育関係は初めてなので

でまだイメージが構築されていない」と言いながらも「現在盛んなスポーツを維持しつつ地区館行事などと連携しながら、ニユースポーツの展開などを出来れば」と話してくれました。また体育以外では「青年層の学習の場が少ないと思うので若い世代の横の繋がりが持てるような活動を継続的に出来れば」語ってくれました。

熱意を持つ公民館活動に取り組む小木曾主事のお手並み拝見。



5月8日(木)に中央公民館において平成20年度公民館年始総会が開催されました。

総会の冒頭、公民館の松村直彦館長により挨拶があり、続いて町の社会教育・

松川町が目指す生涯教育、そして公民館の基

すぽっと

平成20年度公民館年始総会

編集部 鈴木

木一弘

が主体的に企画・運営に関わり公民館と共同で開催する講座だそうです。

部、体育部の活動方針、事業計画が発表され、それぞれの事業に対する協力依頼が行われました。

また、本館新井主事より自

最後に地区公民館の活動方針や事業の概要が発表されました。

こぶしの詩

カエル

東小5年 池野美月
カエルがびよんびよんとんでにげる
わたしは、カエルを

おいかけろ
アマガエルをつかまえた
がんばったぞ！

前の学校よりも

東小5年 大栗京華

転校してきました
ヨロシクネ
だれも気にかけてくれない
そのときに
そつと声をかけてくれた
「一緒にあそぼう」と
優しい声
そのときとつても
うれしかった
「うんっ！」

自然大好き

東小5年 大森裕子

巣箱観察に行つた
巣箱には、ヤマガラがいた
卵があった 次の日
卵が増えていた
うれしかった
ヒナがかえると思つたら
わくわくした

俳句

柿若葉 鋤柄 郁夫

急須より唄こぼれたる新茶かな
矢車の音を呑みたる鯉のぼり

蟻がゆくただ清貧を受けとめて
蝦蟇ぞろり己の時を刻みをり

天に父地に母御座す柿若葉

短歌

さくら 米山 恵美子

凍てつきし朝の結露の窓透かし
桜の梢はつか明るむ

古都の上の綿菓子のごと咲き
満つる桜の中に天女眠らす

万物の死を吸ひ溜めて咲き誇る
桜の花の頬に冷たき

身の内に幽けき音に吸ひ上ぐる
水音のしてさくら爛漫

わが生の節目節目に咲きをりし
桜は汝の花燭の典も



町の古民具 ④ しろかきまんが

視点

牛や馬に引かせて、代かきをした。



声

新社会人

大石卓弥

私が現在働かせて頂いている、松川町社会福祉協議会に就職するきっかけとなったのは私の祖父が目障りがあり、普段生活をしながら、自分一人だけでは出来ない事などを手伝っていました。このように誰かの役に立ちたいと思い始め、高校を卒業する

と同時に愛知県にある東海福祉総合専門学校に入学しました。学生生活の中で私が知らない本当の介護というものを学びました。実習で行かせて頂いた施設の現場では驚く事が多くあり私が働きたかった介護というものとは違いました。しかし、学校で様々なこと



松川町に戻ってきました

を学び、何回か実習を行う事で、もっと利用者の方と関わって介護をしていきたいという確

入社して1ヶ月

信に変わりました。就職活動する中で、私は自分の生まれした町を考えており、一番地域に関われると思ったのが松川町社会福祉協議会だと思い入社させて頂きました。今では利用者の方に楽しんで頂くのを前提に自分自身も楽しんで出来るよう努力して仕事をさせて頂いていきます。

T・T

町内の精密機械関連の会社に入社してから一ヶ月になりますが、まだ会社の雰囲気にならずに慣れていません。この会社はミニチュアボールベアリングを製造しており、私は研削課に配属されました。

最初の頃は、一日中立つて行う仕事と、慣れない事での緊張などとても疲れて、家に帰るとすぐ眠ってしまい、働くことの大変さを実感しました。

私の配属された課は私とだけいぶ歳の離れた方たちばかりでこの中でやっていけるかな不安でした。しかし、わからない事などを聞くと丁寧に教えて下さるので不安が少し解消されました。

最近現場の環境にも少し



少しずつ慣れてきました

ずつ慣れてきて仕事の内容も段々と理解できるようになりました。それにより、少し心にゆとりがもてるようになりました。またまた仕事に時間がかかってしまいますが、会社の役に少しでもたてるように一生懸命頑張りたいと思います。

今月は町で働く方々の「声」を取り上げさせていたいただきました。

草

新緑がまぶしい季節に今さら、といわれるかもしれませんが桜の話です。

今年のはわが家の近く、円満坊の桜がたいへんきれいに咲きました。樹齢数百年といわれる桜の古木。それも一本や二本ではありません。写真愛好家も多く訪れ、残雪の中央アルプスを背景に、力いっぱい咲く桜の雄姿をカメラに納めていました。

祭りで訪れた地区の人々も「今年は見事に咲いたなあ」と、口々に語りながら桜を見上げるその表情の穏やかなこと。きつと数十年前、いや百年前にも、こんな光景が見られたに違いありません。

現在、道路拡幅工事に伴い、円満坊の桜の古木数本を伐採する計画があります。豊かな生活を送るため、必要なものを新しく作ることも大事です。一方、古いものに手を掛けながら大切に保存していくこともまた大事。

「伊那十景の一つでな。江戸時代は阿島の御姫様たちがお花見にやってきましたといわれたい。参道から続く桜の木は十本十色というくらい、それぞれが違う色しておつたんだ。」昨年亡くなった隣のおじいさんが折に触れ聞かせてくれた、円満坊の桜の話。

満開の桜の下、今の自分にできることは何なのか、思案をめぐらした春でした。 坂本美帆

公民館報 「まつかわ」 第 535 号 平成20年 5月15日

発行所 松川町公民館
責任者 松村直彦
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)